様式第２号(事業別概要)

No.

平成２５年度　一般会計 予算見積 事業別概要書（当初）

款	9. 教育費	大事業	4. 学習状況調査事業
項	1. 教育総務費	中事業	
目	4. 教育センター費	担当所属	教育センター

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額
臨時	単独	計画	672	148

実施計画	第３章	「心豊かな人づくり、まちづくり」 ～教育の充実、スポーツ活動の推進～	5年間計画額	4,224
			平成23年度	820
	基本施策６	確かな学力が向上するまちにします	平成24年度	820
			平成25年度	820
	施策１	確かな学力を定着させます	平成26年度	882
			平成27年度	882

本年度事業費	（歳　入）	（歳　出）
本年度当初要求額		820
本年度当初査定額		

財源内訳								一般財源
本年度当初要求額								820
本年度当初査定額								

＜事業に関する説明＞

（事業の概要）・学習状況調査作成委員会を年間５回開催し、調査問題を作成します。
・市内小中学校に通う小中学生に調査を行います。
・調査結果を集計・分析し、報告書を作成、各小中学校に配付します。

（事業の目的）市内小中学校に通う小中学生の国語、算数・数学、英語(中学校のみ)の基礎的・応用的な学力の一部について現状を把握します。

（事業の効果）調査結果及びその分析を報告書、校内研修会等を通じて学校にフィードバックすることにより、学習指導の改善に寄与できます。

（事業実施上の問題点）基礎学力の定着は図れてきている。各学校における基礎学力の向上のための取り組みも充実してきた。今後、学んだことを活用する力や表現力・思考力を高める方策を模索していく。

（前年度からの見直し点）一昨年度より基礎学力に加え、活用する力の調査を行っている。この調査をより充実した調査にするために、問題作成委員の構成を充実させ、よりよい問題づくりを行うようにしていく。

（見積についての特記事項）次世代を担う青少年の育成の中で、基礎的な学力等の重要性について述べられている。市民の教育に関する意識調査の結果からも、児童・生徒の学力向上を求める声がある。

節	本年度 当初要求額	前年度 当初予算額	増減額
08	260	170	90
11	560	502	58

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
差引一般財源								820		672	148

（佐倉市）